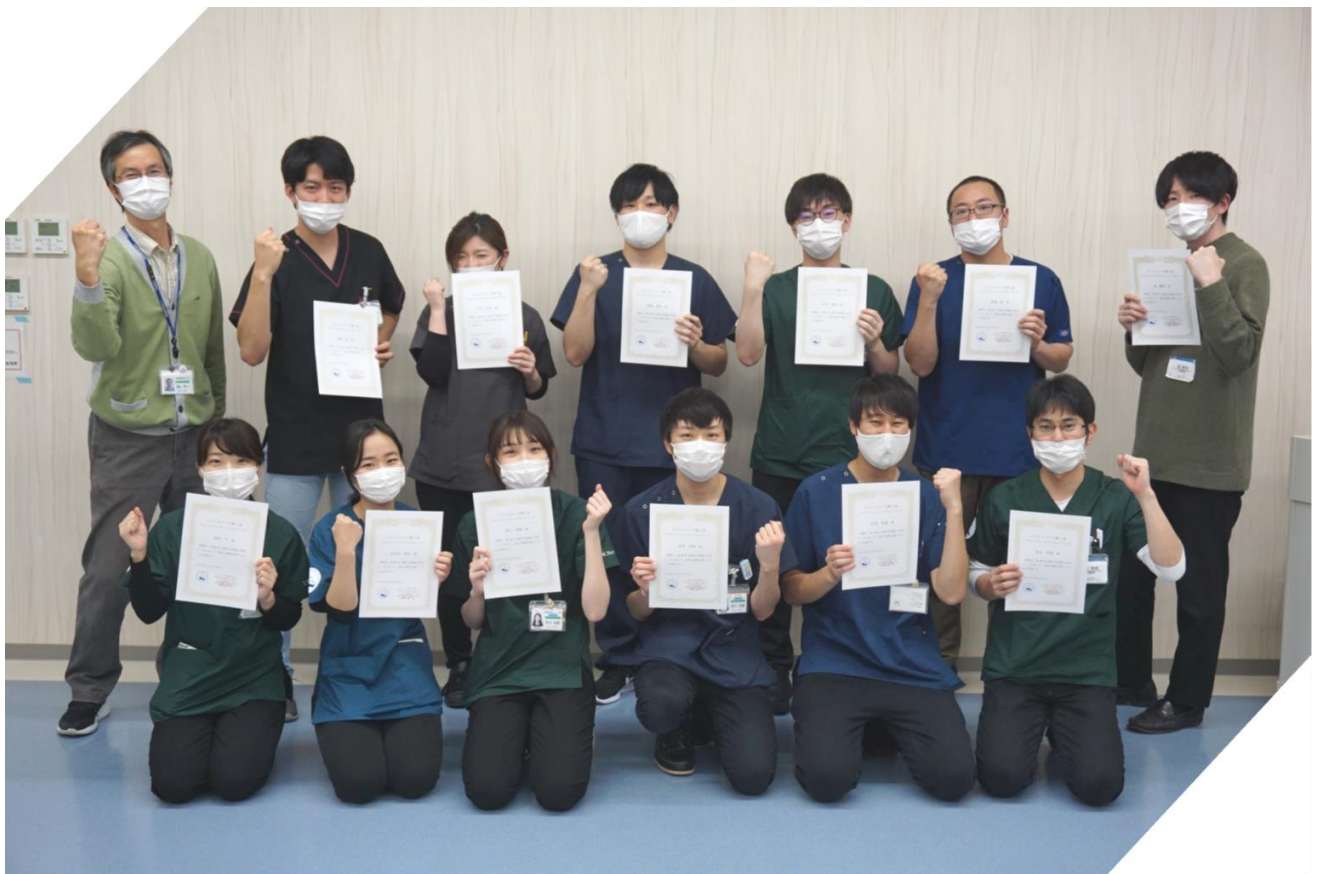




第28回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和2年12月5日(土)開催

主催:長崎シミュレーション教育研究会
共催:長崎大学病院 長崎外来医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
救命救急センター

第 28 回 I C L S コース

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

I C L S とは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実にこなうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、12名全員初期研修医(内、2名は2年次)であった。

スタッフ(コースディレクター1名、サブディレクター1名、インストラクター4名、アシスタント3名)計9名で、指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

各ブースにおける感染予防対策



1. BLSブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン

- ・胸部
- ・頸部
- ・顔面



(2) BVM

(3) AED

4) その他

- ・受講者2人につき、マネキン1体とする
- ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



2. 気道管理ブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

3) 備品消毒箇所

- ・気道管理マネキンの顔面
- ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバマスク
- ・エアウェイ
- ・喉頭鏡
- ・気管チューブ
- ・スタイレット
- ・赤シリンジ
- ・カフ圧計



4) その他

- ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。

3. モニターブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



4. シナリオブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施



3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) BVM

(3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

(4) 輸液・薬剤

(5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



タイムテーブル

〈実施内容〉

開催日時	令和2年12月5日（土） 9：20～17：00
受講者数	12名
対象	初期研修医
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

〈スケジュール〉

			グループ(A)	グループ(B)
09:00～09:20	20分	受付	シミュレーションセンター入口	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション	多目的室	
09:30～10:10	40分	BLS+AED	シミュレーション室1	シミュレーション室2
10:10～10:20	10分	休憩・移動		
10:20～11:10	50分	気道管理/モニター	気道管理 シミュレーション室1	モニター シミュレーション室2
11:10～11:20	10分	休憩・移動		
11:20～12:10	50分	気道管理/モニター	モニター シミュレーション室2	気道管理 シミュレーション室1
12:10～13:00	50分	昼食	多目的室	
13:00～13:10	10分	デモンストレーション	BLS・ALSデモンストレーション シミュレーション室2	
13:10～14:20	70分	チーム蘇生 VF/VT	シミュレーション室1	シミュレーション室2
14:20～14:30	10分	休憩・移動		
14:30～15:20	50分	non VF/VT	シミュレーション室2	シミュレーション室1
15:20～15:30	10分	休憩		
15:30～16:40	70分	メガコード	シミュレーション室2	シミュレーション室1
16:40～16:50	10分	移動		
16:50～17:00	10分	終了式・修了証授与式	終了式・修了証授与式 多目的室	

午前：気道管理

インストラクター：★北山 崎村 百木
アシスタント：西 永友

午前：モニター

インストラクター：★石本 湯川
アシスタント：白髭 眞崎 徳満

午後

シミュ1

★北山 崎村 百木 西 永友

シミュ3

★石本 湯川 白髭 眞崎 徳満

★ブースリーダー

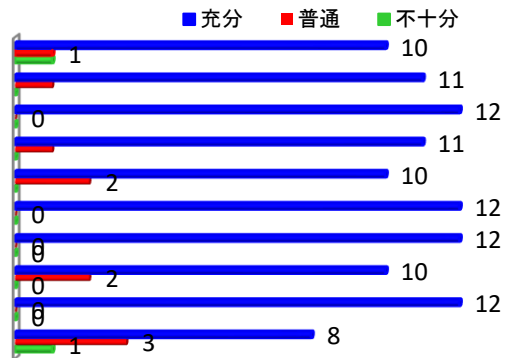


◆アンケート◆ 受講生の声

1)到達項目について、到達できたと思いますか

自己評価

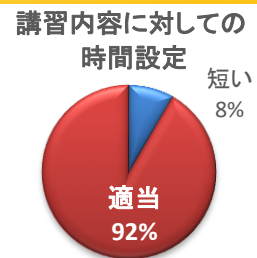
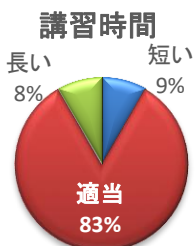
突然の心停止に対し最初の10分間適切なチーム蘇生を習得する
 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
 BLS(一次救命処置)に習熟する
 AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
 心停止の4つの心電図波形を判断できる
 除細動の適応を判断できる
 除細動を安全かつ確実に行うことができる
 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
 気道が確実に確保できているかどうかを判断でき
 治療可能な心停止の原因を検索できる



2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどう変わったと思いますか？

- ・実際にシミュレーションする事で、変わったと思う。
- ・ハリーコールに対する抵抗が少なくなった。
- ・受ける前より、意識のない患者さんを見て、動くことが出来るようになったと思う。
- ・ハリーコールが鳴った時に、自分が何をすべきかわからなかったが、自分でもできる事があると学んだ。
- ・行動に移る為の自信が少しつきました。
- ・最初は、知識はあっても全く動けない状態だったのが、最後は何かしら動けるようになった。
- ・咄嗟に行わないといけない対応の流れを、イメージとして持つことが出来るようになった。
- ・今までハリーコールがあっても向かって、何も出来ない事が多かった。これからは、積極的に胸骨圧迫など、出来る事をみつけて動こうと思った。
- ・知っているのと、行動が出来ることには、大きな違いがあると感じた。
今回の講習で、自分から率先して動けるようになったと思う。
- ・少しは周りの状況を見て、動けるようになったと思う。
- ・復習が出来たとともに、CPAが続いたら拝背していいのかという事や、Asystolの時のDCの3つの確認など、新しく学び、自信がついた。繰り返したのが良かった。

3)カリキュラムについて、お尋ねします



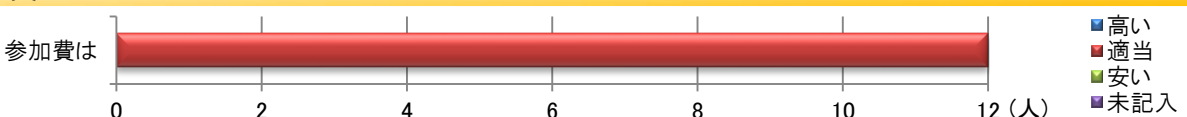
4)インストラクターに一言

- ・皆優しく指導して下さったので良かった。
- ・熱心に教えて下さり、ありがとうございました。(複数回答)
- ・一つ一つの症例が、かなり練って作られていて、凄く勉強になった。フィードバックも丁寧に頂き有難うございました。
- ・お休みの日に、丁寧な指導、本当に有難うございました。(複数回答)
- ・適度に助け船を出してくださって、とても分かり易く、頭の整理が出来たと思う。
- ・準備やご指導・アドバイスを頂いて、もっと周りを見て、自信をもって、指示など出来るように、知識を増やしていこうと思います。

5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- ・人形の脈が分かりにくかった。
- ・機材が高そうだった。

6)参加費は・・・



7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

- インストラクターによって、指導の方針が違ったりするので、もう少しマニュアル化して欲しい。少し分かりにくかったり、伝わってこない事があった。

8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

インストラクター希望 0名



◆アンケート◆ スタッフの声

【受講生について】

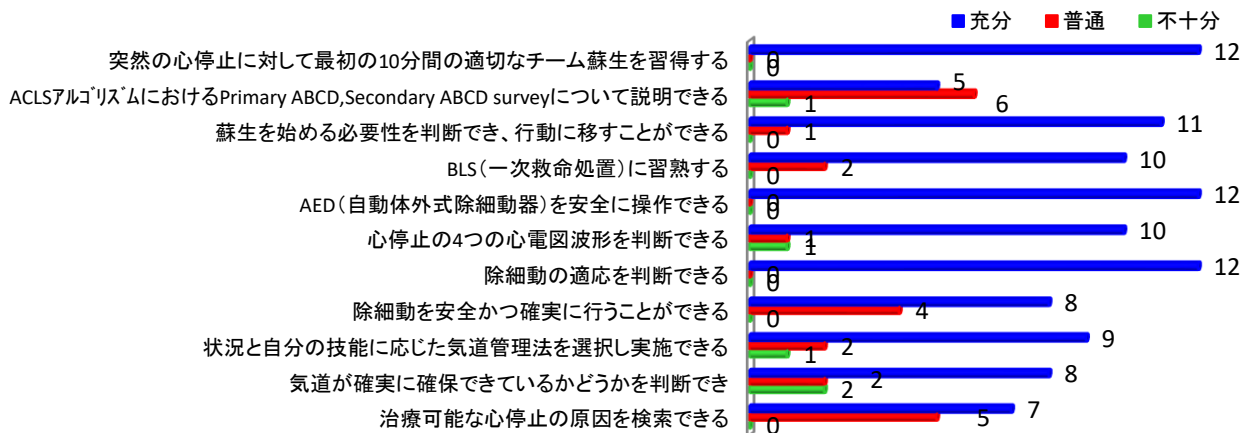
1)受講者の態度・意欲はどうだったか？

- 真面目に取り組んでいた。(複数回答)
- やる気はありました。最後は疲れていましたが・・・(複数回答)
- 意欲的に取り組んでいた。(複数回答)
- 素直な研修医達だった。
- 積極的に取り組んでいた。(複数回答)
- 前半は消極的だった。知識不足の為に消極的だったように思う。

2)予備知識(予習含む)はどうだったか？

- 一部予習をしていない人もいた。(複数回答)
- しっかり勉強をしている印象でした。(複数回答)
- 忘れていた事が多いようだった。

3)到達項目について、到達できたと思いますか？



【インストラクターについて】

4)自身はどうでしたか？

- 未熟なインストラクターや、全体のサポートに努めた。
- 前回参加から直ぐだったので、少し慣れていた。
- 初めてのブース長をし、全体を見るのが難しかった。
- 想定付与の際、もっと病態把握をするべきだと感じた。
- 久しぶりで緊張した。皆さんに助けられた。
- 実際に人に教えるという事が、難しいと感じた。
- 午前中はブース全体を見る事が出来なかった。
- どこまで指導(口出し、言い方)すべきか。
- 実際に指導をしてみると、忘れていたところがあったりし、期間を空けず参加したい。
- 初めてのアシスタントで、上手く誘導出来ない場面があった。
- 2回目のアシスタントだったが、難しかった。

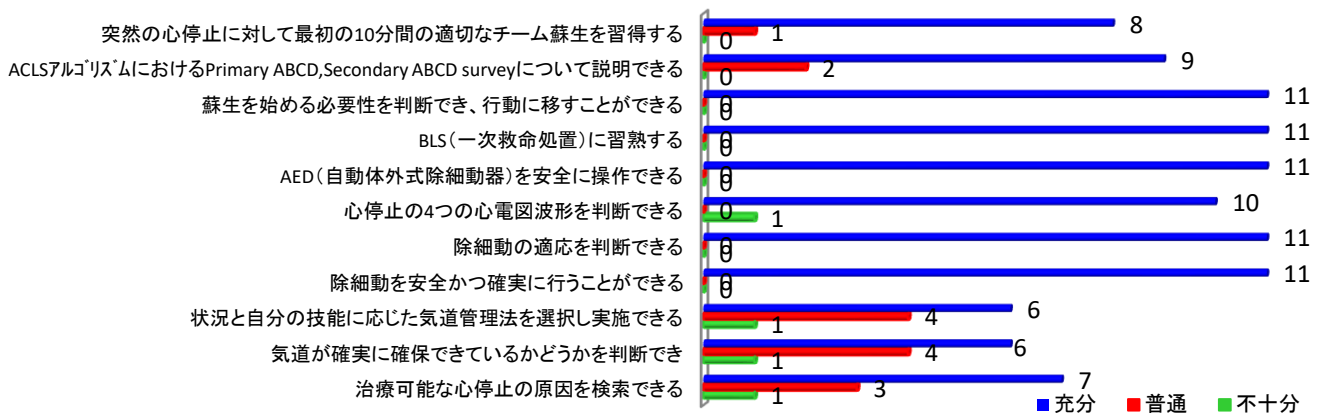
5)同僚のインストラクターはどうでしたか？

- ・皆、しっかり勉強していると感じた。
- ・臨機応変に対応し凄と思った。
- ・時間配分やシナリオの調整を提案してもらった。
- ・仲間意識があり良かった。〇〇先生が穏やかでとても良かった。
- ・お互いにサポートしあえた。
- ・指導法、特に褒め方を参考にしたい。学ぶことが多かった。などの意見あり
- ・他、受講生をしっかり観察し指導が出来ていた。良かった。素晴らしいなどの意見あり

6)アシスタント、チューターはどうでしたか？

- ・アシスタントはよく勉強していて、インストラクターの教え方をよく見て、取り入れていた。チューターは、大事な部分が抜けている点を指摘してくれた。
- ・時間管理にサポートを要した。
- ・初回の方もいたが、後半はだいぶ慣れてきていた。
- ・人数は丁度よかった。
- ・いっぱい手伝って頂いた。協力して指導に当たる事が出来た。など
- ・きびきびと動いていた。それぞれ頑張っていた。良かった。など

7)到達項目を十分教えることが出来ましたか？



8)講習会全体について

1. 講習時間について 適当 9名 長い2名 無回答1名
2. 指導内容(量)について 適当10名 無回答2名

9)運営者について

1. 当日の運営はどうでしたか？

- ・2グループ殆ど同時に進行出来て良かった。
- ・機材トラブルがあった。3名
- ・スムーズに動けた。
- ※他、「運営はとてもスムーズ。」「順調。」などの意見が6名

2. 当日までの準備はどうでしたか？

- ・メールの内容によってはデータが届かなかった。
- ・事前に資料をもらい、目を通すことができたので、全体の流れを把握しやすかった。
- ・受講者の事前学習を促したい。
- ※他「問題なかった」「良かった」無記入など

10)今後のこの会についてひとこと

- ・機材トラブルがあったので、予備の資材のセッティングが必要と感じた。
- ・シナリオの見直しや調整が少し必要と感じた。2名
- ・受講生の中で、アシスタントをする人が出ているのが素晴らしい。
- ・インストラクターに興味を持つ受講生が増えるといいと思う。
- ・指導側の難しさがわかった。
- ・継続は大変だと思うが、重要だと思うので続けて欲しい。
- ※他「また参加したい」(複数回答)

フォトギャラリー



長崎大学病院 長崎外来医療教育室

地域医療支援センター ・ シミュレーションセンター

〒852-8501

電話 (095) 819-7346

長崎市坂本1丁目7番1号

FAX (095) 819-7379